



### 大切にしたい「聴くこと」

琴浦南小学校校長 田尾 和彦

「人の話をしっかりと聴くこと」簡単そうで、本当に難しいです。いつも「聞く」よりも「聴く」を大切にしたいと思っていますが、私自身、なかなか人の話が聴けていないと反省しています。新明解国語辞典（三省堂）よれば、「聞く」は、音や声を耳で感じること「聴く」は、聞いた内容を理解して、それに応じることとあります。子どもたちには「聴」の文字を分解して「耳と目と心で聴くことなんだよ。」と話しています。

先日、PTA人権教育講演会でお招きした就実短期大学教授小谷彰吾先生のご講演の中に、次のようなお話がありました。

「幸せになる話の聴き方は『目を見て聴く』『うなずきながら聴く』『相づちを打ちながら聴く』この三つです。すると、相手の人が自分のために話をしてくださっているという気持ちになって、心がつながるんです。」

日頃、私たちは相手の人が、自分のために話をしてくださっているとは、なかなか思えないものです。つつい、他人事として、聞き流すこともあるのではないのでしょうか。しかし、人の話をしっかりと耳と目と心で聴くことは「相手の気持ちになって考える。」ことへの第一歩ではないのでしょうか。

私の話をいつも一生懸命に聴いてくれている子どもたちに感謝しています。だからこそ、聴く価値のある話をしなければならぬと強く感じています。

これからの時代は、急速に変化し、予測困難な時代と言われています。しかし、どんな時代になっても「聴く」ことを大切にできるそんな人であってほしいと願っています。

## 研修視察 播磨社会復帰促進センター

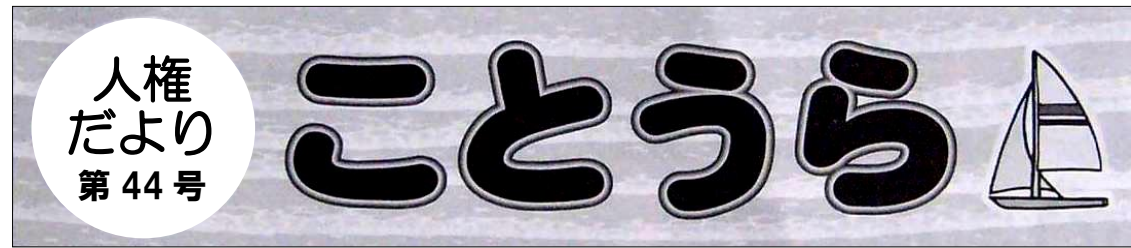
7月26日（金）に28名の参加者で研修視察を行いました。播磨社会復帰促進センターは平成19年に開所した施設で、全国に4か所ある社会復帰促進センターの1つで、法務省と民間企業が協働で運営する新しい形の刑務所でした。受刑者の様子を直接見せてもらい社会復帰促進センターの特徴を知ることができました。センターの方から、刑期を終え社会へ復帰したくても働く場が少ないことや、厳しい目にさらされるなどの問題が多くあるという説明を聞かせてもらいました。実際の生活の場で自分がどのようにかわっていくことができるのかを改めて考える機会にすることができたと思います。

#### ◇ 参加者の感想 ◇

- ・地域との共生について深く考える機会となりました。社会復帰後の様々な支援がとても必要であると感じました。
- ・今回の研修視察を通して、非行や犯罪を犯さない社会を目指さなければならないことまた、立ち直ろうと努めている人を応援できる社会でなければならないことを実感しました。



編集後記：取材や原稿依頼にご協力をいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。（事務局）



人権だより 第44号

# ことうら



発行 令和元年10月1日発行  
琴浦中学校区  
人権学習推進委員会  
事務局  
琴浦公民館  
倉敷市児島下の町9-2-27  
TEL・FAX473-0080

中学校区テーマ 人権をたいせつにしあう明るい地域—琴浦—

重点課題 元気で明るい子どもを育てよう



## 差別のない安心安全で住みやすい「まちづくり」を目指して

琴浦中学校区人権学習推進委員会 会長 藤井 昭佐

前任の内田会長の後を受け、令和元年度から琴浦中学校区人権学習推進委員会会長の任をお受けすることになった藤井昭佐です。地域の皆様や推進委員並びに事務局の皆様のご協力のもと、琴浦中学校区の活動を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

人権は、人種や民族、性別を超えて誰にでも認められる権利であり、私たちが幸せに生きるためのものですが、現在でも人権をめぐる様々な問題が生じています。本年度も琴浦中学校区では「人権をたいせつにしあう明るい地域—琴浦—」の合言葉のもと、差別のない明るく住みよい人権の確立した地域を目指し、推進委員の皆様とともに着実に活動を進めてまいります。今後とも皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

## 令和元年度総会開催・新会長選任

琴浦中学校区人権学習推進委員会総会を6月6日（木）に琴浦公民館で開催しました。会長の挨拶のあと、倉敷市教育委員会より中学校区人権学習推進事業の趣旨及び概要について説明がありました。協議では、本年度の役員改選、事業計画や予算の提案があり承認されました。役員改選では、平成27年度より4年間会長を務められた内田浩二民生委員児童委員琴浦東地区会長が顧問に新会長に藤井昭佐前琴浦中学校区青少年を育てる会会長が選任されました。



於：琴浦公民館

顧問	内田 浩二
会長	藤井 昭佐
副会長	佐藤 有希子
監査	大西 友紀
委員	石井 啓一
	片沼 洋
	細川 由香
	清板 友紀
	大西 友紀
	佐藤 有希子
	藤原 健一
	山坂 敏美
	黒明賀洋子
	國重 和子
	田中 清子
	濱田 いづみ
	角南 英子
	浦上 俊二
	生田 宏志
	大月 岩志
	下島 重春
	中西 文明
	尾崎 鈴子
	石原美恵子
	大西美和子
	瀬野 智史
	浜岡 茂
	安藤 和夫
	谷 亜紀
	竹岡 浩志
	荻野 雄三
	畑中 英史
	田尾 和彦
	坪井 伸治
	原 道子
	石井 理香
	権田 政美
	松井 明子
	佐藤 玲子
	荻野 佳子
	幸田 正美

令和元年度 琴浦中学校区人権学習推進委員会名簿（敬称略）

### 年間行事予定

視察研修	○播磨社会復帰促進センター ヒガシマル醤油・そうめんの里【7/26】	会議	○総会【6/6】○役員会【6/6, 2/28】 ○事務局会【5/23, 2/18】 ○推進委員研修会【2/28】
広報活動	○人権だよりの発行【10/1, 3/1】 ○人権ポスターの募集・展示 ○啓発グッズの配布・展示	ふれあい交流活動	○人権ふれあい喫茶コーナー 琴浦公民館【9/25～9/29】 唐琴公民館【11/16・17】

事務局員	川田 勝彦
	山室 裕子
	岡田 誠司
	古谷 聡江
	三宅 優香
	西田 靖
	三崎 伸一郎
	山中由美子
	増成 優子
	有田 博彦
	齊藤 弥香
	高尾絵津子

6/22 (土) 唐琴王子保育園 人権教育講演会



みんなで学ぼう「情報モラル」

倉敷市教育委員会 情報学習センター

主任 鷲田 倫丈先生

今では、スマホ等の情報機器がとても便利なものとして生活にも取り入れられています。1日に何時間使っていますか?どんなことに気をつけて使うといいのでしょうか。子どもたちが初めてネットに関わるのは、携帯型ゲーム機や使い古しのスマホです。ゲーム機でもほぼすべてのネット機能が使用できるので保護者が制限(フィルタリング)をかけ、親子でルール作りをする等分かりやすくお話をして頂きました。また、コミュニティサイトでの被害の怖さについても教えて頂きました。現在は情報社会、パソコンやスマホを上手に使っていきたいと思いました。



琴浦東幼稚園 幼稚園生活の中からの人権

「カメさんに餌をやりたい。」と、自分の荷物を片付け終えた3歳児がやってきました。餌をやりながら、「あっ、食べた!」とにっこり。「かわいいね。」とうれしい表情。入園間もないまだ緊張している幼児にとって、園で飼育しているカメやうさぎとの触れ合いは、幼児の心の安定に大きな役割を果たしています。その他、園では虫取りやダンゴ虫探し、草花摘み等、いろいろな動植物にかかわる姿が多く見受けられます。このような



かかわりの中で、幼児が親しみをもって接し、生命の尊さへの気付きやいたわり、大切にしようとする気持ちが育まれるように、言葉を掛けたり一緒に世話をしたりする等配慮をしています。

そしてこの気持ちは、これから先、人とのかかわりに大きく影響します。人を思いやる優しい気持ちを育てていけるように、一緒に生活する私たち自身の感性を磨かねばならないと思います。



人権学習推進委員会主催事業

人権ポスター展示代表作品

各校6作品ずつ、9月13日から琴浦公民館をスタートに各小中学校・唐琴公民館と順次1月26日まで展示します。

公民館 展示期間	○琴浦公民館	R元 9/13 (金) ~ 9/29 (日)
	○唐琴公民館	R2 1/10 (金) ~ 1/26 (日)



本年度もたくさんの力作がそろいました。



(琴浦東小2年) 光畑 琥太



(琴浦東小6年) 長尾 伊真



(琴浦南小2年) 高谷 太誠



(琴浦西小5年) 西山 侑良



(琴浦西小6年) 丸本 眞渚



(琴浦南小4年) 橋本 奈緒子



(琴浦中2年) 飯川 琉生



(琴浦中2年) 江草 由唯



(琴浦北小6年) 佐伯 有萌